

製品概要

本器はグラフィックアイ3000/4000シリーズと接続して使用します。
D-Sub9ピン・メスコネクタを装備しており、RS232ケーブル（別途）を使用して外部パソコンやAVシステムと直接接続できます。
壁面取り付けもしくは19インチAVラック（1U）への取り付けが可能です。

機能

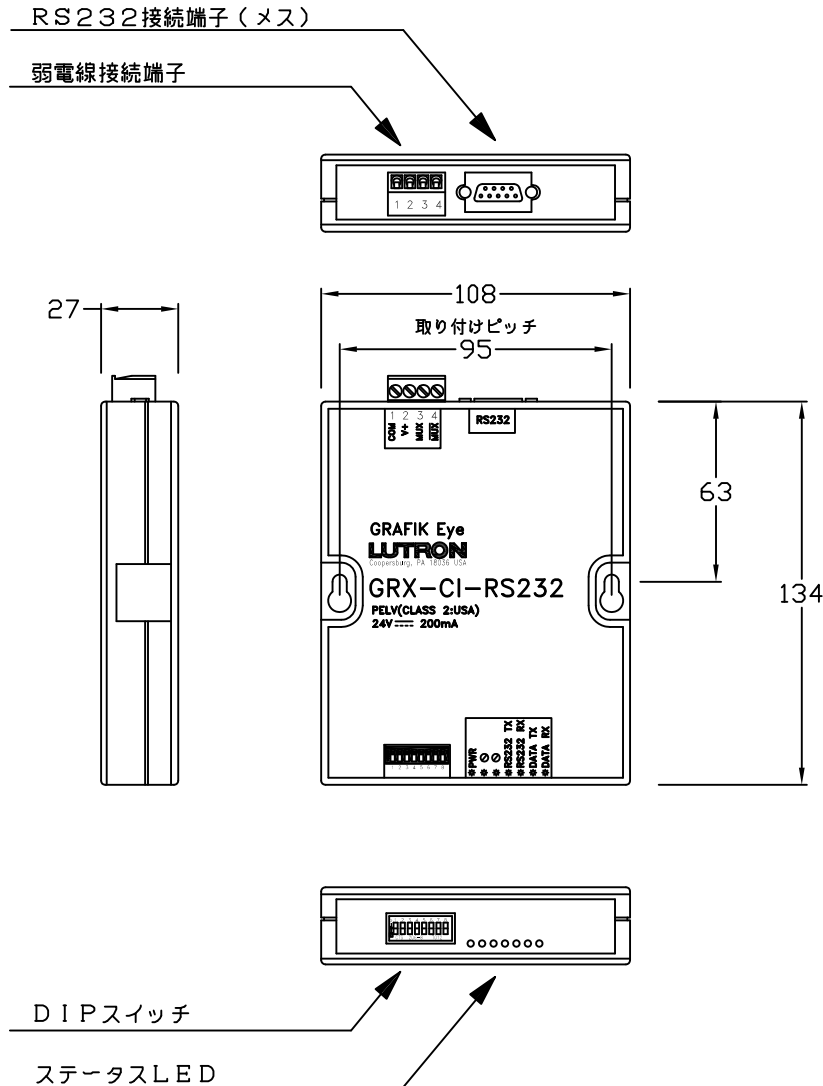
- RS-232C信号により、外部パソコンやデジタルAV機器、タッチパネルシステムなどと接続し、グラフィックアイの操作を行うことができます。
- コントロールコマンド
 - シーンの選択
 - ゾーンロック
 - シーケンス
 - ゾーンの調光レベルの調整
 - シーンロック
 - ゾーン調光レベル指定(1%単位-3500/4500モデル)
- モニタリングコマンド
 - 選択されたシーンの表示
 - どのボタンが押されたかフィードバック

注意事項

- 本器のアドレスは16番で固定されており、アドレス設定は不要です。本器が入ったシステム内では、他の補助コントロールやインターフェースのアドレスを16番以外に設定して下さい。
- システム内に複数の複数のGRX-CI-RS232、または同時にGRX-RS232、GRX-CI-NWK、GRX-PRGが存在する場合、アドレス設定が必要になります。詳細は次ページを参照ください。

定格・仕様

種類	RS232インターフェース
定格電源	グラフィックアイ3000との接続の場合 DC12V（コントロールユニットより給電） グラフィックアイ4000との接続の場合 DC24V（調光盤より給電）
使用周囲温度範囲	0℃～40℃（一般室内取付専用）
使用周囲湿度範囲	相対湿度 90%以下（無結露）
入出力端子	RS-232C端子（メス）
最大システム電線長	全体で150m以下 弊社ケーブルGRX-CBL-346S使用時 全体で600m以下 弊社ケーブルGRX-CBL-46L使用時
製品重量	約180g
ケース材質	黒色プラスチック



GRX-CI-RS232

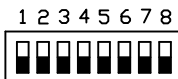
REVISION	1.5
RELEASED	2014.02.03
PAGE	1/2

承認	細谷	検図	細谷	作成	浅野
----	----	----	----	----	----

GRAFIK EYE グラフィックアイ3000/4000 シリーズ
RS-232コントロールインターフェース 仕様書

DIPスイッチの設定について

DIPスイッチの設定(下表)により、本器の機能を設定します。



スイッチ	機能	上/オン	下/オフ
1※	ゾーンロック	電源が切れた際、ロックされていたゾーンはその照度を保持	電源が切れた際、ロックされていたゾーンはロックが解除される
2※	シーンロック	電源が切れた際、ロックされていたシーンはその照度を保持	電源が切れた際、ロックされていたシーンはロックが解除される
3※	シーケンスリティン	電源が切れた際、再度シーケンスが始まる	電源が切れた際、シーケンスは停止
4※	シーケンスシーン選択	シーケンスシーン5~16	シーケンスシーン1~4
5	アドレス切替	DIPスイッチ1~4を使用してアドレスを設定	システムに本器が1台のみの場合(アドレス16で固定/アドレス設定不要)
6	ボタンフィードバック	コントロールユニットまたは補助コントロールが操作された場合、RS-232信号によって外部機器へフィードバック	フィードバックしない
7	シーンフィードバック	シーンが変更された場合、RS-232信号によって外部機器へフィードバック	フィードバックしない
8	使用しません	使用しません	使用しません

※システム内の複数のGRX-CI-RS232、または同時にGRX-RS232、GRX-CI-NWK-E、GRX-PRGが存在する場合、アドレス設定が必要になります。DIPスイッチ5をオン(上)にし、1~4を使用してアドレス設定をしてください。システム内に本器1台の場合は、DIPスイッチ5をオフにし、1~4を使用して機能を選択できます。

グラフィック3000/4000との配線について(下図参照)

- 本器はグラフィックの補助コントロールリンクに設置します。下図を参照して下さい。
- ルートケーブル/GRX-CBL-346S(4芯)またはGRX-CBL-46L(5芯)をご使用下さい。
各端子には、1:黒 2:赤 3:紫 4:白 の順で使って下さい。GRX-CBL-46Lのオレンジ色の線は使用しません。
- 他社製機器との接続にはRS-232ケーブル(D-SUB9ピン/ストレート)が別途必要です。
なお、最大延長は15m以内して下さい。

